

# ゴム可とうクイックブランチ《施工手順》

**!** 埋設深さは土被り4m以下で施工をお願いします。

## 施工上の注意

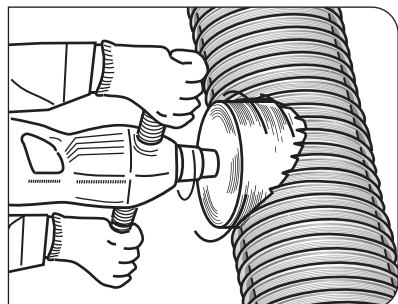
1. 封印シールはセット時まではがさないで下さい。
2. ハンドルは施工時まで、回さないで下さい。
3. ゴムパッキンは水膨張性ゴムのため、施工直前まで水に触れないよう保管して下さい。
4. 取付箇所周囲(特に下部)は、充分締め固めて下さい。

- ホルソー ●ドライバー ●ウエス
- ヤスリ ●滑剤(Vソープ)

## 必要工具類

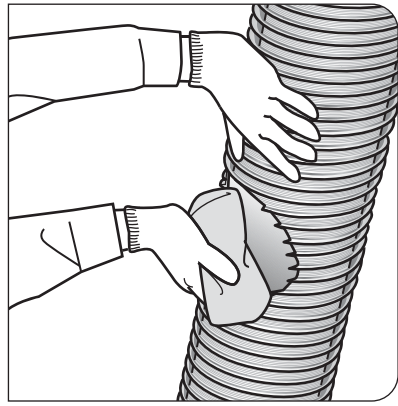
### 1 せん孔する

適応せん孔径  
φ100...117~122mm  
φ150...168~172mm



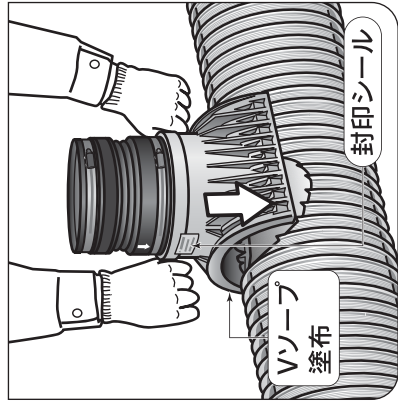
リップパイプ協会の施工手順に従って、ホルソーでせん孔します。  
※ゴムパッキンが当たる範囲内のリップに欠けがないことを確認して下さい。欠けている部分がある場合はクイックブランチは使用できません。  
※クイックブランチを正しくセットするために、適応せん孔径を守り、芯ズレ等に注意してせん孔して下さい。

### 2 バリを取り除く



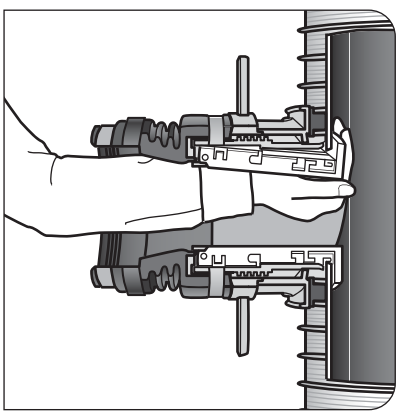
ウエス・ヤスリなどで、バリやせん孔屑をきれいに取り除きます。  
※ゴムパッキンが当たる範囲内の泥などを取り除いて下さい。

### 3 クイックブランチをセット



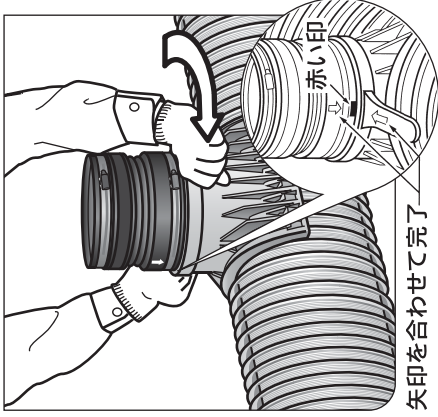
- 先ず、ツメを分岐の中央に寄せます。
- ※ゴムパッキンは、外さないで下さい。
- ゴムパッキンにVソープを塗布します。
- パッキン溝とリップ山、せん孔位置を合わせてセットします。
- ※本体やハンドルにVソープが多量に付着した場合は速やかにふき取って下さい。

### 4 ツメセット(ツメを外側へ)



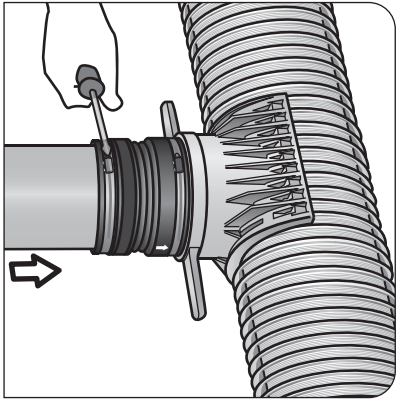
ツメ下部を持ち上げる様にして両側へ広げ下さい。  
※ツメがきちんと取まったか確認して下さい。  
※ツメのセットが不確実ですと、ハンドルを回す際にツメが外れます。またその場合、再セットはできません。

### 5 ハンドルを回す



封印シールをはがして、ハンドルをストッパー位置(溝に赤い印が見える)まで回します。(約3回転半)  
※ストッパー位置まで確実に回して下さい。  
※ハンマー等での打撃は厳禁です。  
※ハンドル回転後、ツメが確実にセットされていることを再確認して下さい。

### 6 ステンレスバンドを締め付ける



取付管をゴム可とう受口に挿入し、ステンレスバンドを締め付けて施工完了です。  
※可とうゴム部での曲げ配管は行わないで下さい。  
※下部のステンレスバンドも締め付けを確認して下さい。(締め付けトルク... 5~7N・m {50~70kgf・cm})

**!** 施工前にハンドルを回すと、使用できなくなります。再施工はできません。